



2025 年 12 月 19 日

各 位

会 社 名 横浜冷凍株式会社
代表者名 代表取締役社長 古瀬 健児
(コード番号 2874 東証プライム)
問合せ先 執行役員IR部長 星 光孝
電話番号 045-210-0011

「2025 年 9 月 期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正に関するお知らせ

当社は、2025 年 8 月 13 日に開示いたしました「2025 年 9 月 期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正の経緯および理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(2025 年 12 月 19 日)付「過年度の決算短信の訂正並びに過年度の有価証券報告書・半期報告書の訂正報告書の提出について」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所には下線を付して表示しております。

以上



2025年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月13日

上場会社名 横浜冷凍株式会社 上場取引所 東
コード番号 2874 URL <https://www.yokorei.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古瀬 健児
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR部長 (氏名) 星 光孝 TEL 045-210-0011
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第3四半期の連結業績(2024年10月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第3四半期	95,266	4.5	3,709	△8.3	3,278	13.1	2,289	37.4
2024年9月期第3四半期	91,168	△1.3	4,044	48.1	2,899	△15.2	1,665	△28.3

(注) 包括利益 2025年9月期第3四半期 2,562百万円(△64.7%) 2024年9月期第3四半期 7,256百万円(215.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第3四半期	38.82	—
2024年9月期第3四半期	28.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年9月期第3四半期	214,174	81,289	37.2	1,349.68
2024年9月期	203,026	79,871	38.5	1,327.75

(参考) 自己資本 2025年9月期第3四半期 79,623百万円 2024年9月期 78,248百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	12.00	—	12.00	24.00
2025年9月期	—	12.00	—		
2025年9月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2025年9月期の連結業績予想(2024年10月1日～2025年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	127,000	3.9	4,250	△8.6	4,150	△13.7	2,800	△28.8

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) パックス冷蔵株式会社、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年9月期3Q	59,266,684株	2024年9月期	59,266,684株
② 期末自己株式数	2025年9月期3Q	272,114株	2024年9月期	333,635株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年9月期3Q	58,957,685株	2024年9月期3Q	58,885,090株

当第3四半期末において、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式162,100株を自己株式に含めています。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：有 (義務)

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、当社グループを取り巻く経済状況、事業環境、他社との競合、自然災害、金利等様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等の注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2024年10月1日～2025年6月30日)における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果等により、緩やかに回復しているものの、海外の景気動向による下振れリスク、原材料価格の高騰や人件費の上昇に加え、値上げに対する消費者の節約志向の高まりにより、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、2026年を最終年度とする新・中期経営計画(第Ⅱ期)「繋ぐ力」を昨年度策定し、冷蔵倉庫事業では「積み重ねてきた高品質な物流で国内外の課題を解消し、お客様へスマートコールドサービスを提供」、食品販売事業では「国内外の生産者とのネットワークを活かし、目利き力により旬や美味しさをお客様へ」を方針としました。最終年度(2026年9月期)に「連結売上高1,500億円」「連結営業利益65億円」「EBITDA130億円」「ROE5%以上」「自己資本比率40%台を維持」とした定量目標を達成すべく、各重点施策に取り組んでおります。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高95,266百万円(前期比4.5%増)、営業利益3,709百万円(前期比8.3%減)、経常利益3,278百万円(前期比13.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,289百万円(前期比37.4%増)となりました。

なお、当社グループは、2024年11月14日付「過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」及び2025年1月6日付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」に記載のとおり、収益認識基準に関する会計基準に準拠した会計処理を行い決算訂正をしました。第74期(2021年9月期)以降の決算を訂正し、第74期(2021年9月期)以降の有価証券報告書、四半期報告書、内部統制報告書の訂正報告書を、2025年1月6日に関東財務局へ提出するとともに、当連結会計年度(2023年10月1日～2024年9月30日)の第3四半期決算短信及び決算短信の訂正開示を行いました。

(冷蔵倉庫事業)

当第3四半期連結累計期間は増収増益となりました。

当期は3つの新設物流センター立ち上げ時の一時経費や減価償却費の増加等、利益を下押しする要因はありました。しかしながら入庫量、出庫量、在庫量すべてにおいて前期を上回り、また、人件費や動力費などの高騰要因に伴う価格交渉も進み、増収に寄与しました。

連結子会社のタイヨコレイにおいては、入庫量、出庫量ともに増加しましたが、主力取扱品である畜産品、乳製品の取扱量および在庫量が減少し、増収減益となりました。

以上の結果、冷蔵倉庫事業の業績は、売上高27,809百万円(前期比7.4%増)、営業利益5,840百万円(前期比0.4%増)となり、第3四半期連結累計期間としては冷蔵倉庫事業セグメントの過去最高益を更新することが出来ました。

(食品販売事業)

当第3四半期連結累計期間は増収減益となりました。

売上高、売上総利益とも、前期実績を上回りましたが、運賃、保管料等のコスト増を吸収しきれず増収ながら減益となりました。

水産品は、サバ、タコ、イワシの他、引続き西日本での前浜の餌料用イワシ・サバ等が豊漁で増収増益となりました。一方、東日本においては、サンマが想定よりも需要が伸びずに在庫過多となり、次シーズンにむけての在庫調整により減益、また、マグロは一定の水揚げがあったものの米国関税の影響で輸出数量が減少し減収減益となりました。

畜産品は、組織効率化でチキンの利益率が向上し、大幅な増益となり、ポークはインバウンド需要の取込みで前年並みの売上、利益を維持しました。

農産品は主力のイモ類が天候不順により取扱いが減少しましたが、その他商材の取扱いでカバーし、前年並みの売上、利益を確保しました。

以上の結果、食品販売事業の業績は、売上高67,433百万円(前期比3.4%増)、営業利益865百万円(前期比27.4%減)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ11,147百万円増加し、214,174百万円となりました。これは主に有形固定資産が9,629百万円、受取手形及び売掛金が2,181百万円増加したこと、商品が1,267百万円減少したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末と比べ9,730百万円増加し、132,885百万円となりました。これは主に借入金18,456百万円、その他（設備関係支払手形及び設備関係未払金）が4,516百万円増加したこと、社債が10,000百万円、未払法人税等が3,091百万円減少したこと等によるものです。

また、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,417百万円増加し、81,289百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」）は、前連結会計年度末に比べ637百万円増加の3,799百万円となりました。当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な内容は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,647百万円の資金の増加（前年同四半期は9,056百万円の資金の増加）となり、その主な内容は税金等調整前四半期純利益3,911百万円、減価償却費5,991百万円、棚卸資産の減少額1,297百万円等による資金の増加と、法人税等の支払額4,649百万円、売上債権の増加額2,139百万円等の資金の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、10,091百万円の資金の減少（前年同四半期は16,560百万円の資金の減少）となり、その主な内容は有形固定資産の取得による支出10,952百万円等の資金の減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、6,929百万円の資金の増加（前年同四半期は8,271百万円の資金の増加）となり、その主な内容は金融機関からの借入の純増額18,439百万円による資金の増加と、社債の償還による支出10,000百万円、配当金の支払額1,421百万円等の資金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の連結業績予想につきましては、「2024年9月期 決算短信」（2025年1月6日付）で公表した数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,481	3,809
受取手形及び売掛金	13,370	15,552
商品	16,295	15,027
前渡金	498	226
短期貸付金	825	1,005
その他	1,809	2,429
貸倒引当金	△10	△23
流動資産合計	36,270	38,027
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	63,660	76,194
機械装置及び運搬具（純額）	9,775	12,655
土地	31,410	31,443
リース資産（純額）	373	393
建設仮勘定	9,199	3,291
その他（純額）	981	1,051
有形固定資産合計	115,399	125,029
無形固定資産	3,340	3,255
投資その他の資産		
投資有価証券	43,239	43,310
長期貸付金	4,224	4,204
長期未収入金	6,450	6,506
繰延税金資産	264	1
その他	904	956
貸倒引当金	△7,067	△7,117
投資その他の資産合計	48,015	47,861
固定資産合計	166,756	176,146
資産合計	203,026	214,174

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,573	3,984
短期借入金	12,273	15,967
1年内返済予定の長期借入金	5,698	5,538
1年内償還予定の社債	10,000	—
リース債務	99	106
未払法人税等	3,098	6
賞与引当金	622	182
役員賞与引当金	—	35
その他	7,277	12,238
流動負債合計	43,643	38,061
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	52,854	67,776
リース債務	306	321
繰延税金負債	—	248
役員報酬BIP信託引当金	95	95
債務保証損失引当金	4,281	4,344
退職給付に係る負債	783	808
資産除去債務	91	91
その他	1,098	1,137
固定負債合計	79,511	94,824
負債合計	123,155	132,885
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,303	14,303
資本剰余金	14,428	14,427
利益剰余金	41,137	42,227
自己株式	△282	△227
株主資本合計	69,586	70,731
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,542	7,772
繰延ヘッジ損益	△184	30
為替換算調整勘定	1,237	1,010
退職給付に係る調整累計額	64	78
その他の包括利益累計額合計	8,661	8,892
非支配株主持分	1,623	1,665
純資産合計	79,871	81,289
負債純資産合計	203,026	214,174

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
売上高	91,168	95,266
売上原価	80,468	84,474
売上総利益	10,700	10,792
販売費及び一般管理費	6,656	7,083
営業利益	4,044	3,709
営業外収益		
受取利息	215	328
受取配当金	281	308
保険配当金	18	29
受取遅延損害金	198	—
受取手数料	93	0
貸倒引当金戻入額	—	20
その他	293	374
営業外収益合計	1,101	1,061
営業外費用		
支払利息	371	642
支払手数料	236	2
貸倒引当金繰入額	143	—
デリバティブ評価損	406	130
為替差損	754	595
その他	332	120
営業外費用合計	2,245	1,492
経常利益	2,899	3,278
特別利益		
投資有価証券売却益	—	350
条件付対価受入益	—	283
特別利益合計	—	633
税金等調整前四半期純利益	2,899	3,911
法人税、住民税及び事業税	931	1,359
法人税等調整額	250	235
法人税等合計	1,182	1,594
四半期純利益	1,717	2,317
非支配株主に帰属する四半期純利益	52	28
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,665	2,289

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	1,717	2,317
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,141	229
繰延ヘッジ損益	△738	215
為替換算調整勘定	114	△213
退職給付に係る調整額	20	13
その他の包括利益合計	5,538	244
四半期包括利益	7,256	2,562
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,172	2,520
非支配株主に係る四半期包括利益	83	41

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,899	3,911
減価償却費	5,348	5,991
のれん償却額	33	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△667	△440
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△17	35
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	831	62
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	344	62
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	50	32
役員報酬B I P信託引当金の増減額 (△は減少)	△48	—
受取利息及び受取配当金	△497	△636
受取手数料	△93	△0
支払利息	371	642
デリバティブ評価損益 (△は益)	406	130
条件付対価受入益	—	△283
売上債権の増減額 (△は増加)	563	△2,139
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△350
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,861	1,297
前渡金の増減額 (△は増加)	1,566	272
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,297	△589
未払費用の増減額 (△は減少)	225	328
その他	△687	△213
小計	10,067	8,113
利息及び配当金の受取額	483	653
手数料の受取額	93	0
利息の支払額	△287	△471
法人税等の支払額	△1,299	△4,649
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,056	3,647
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△300	—
定期預金の払戻による収入	—	286
有形固定資産の取得による支出	△16,263	△10,952
有形固定資産の売却による収入	6	2
無形固定資産の取得による支出	△114	△209
投資有価証券の取得による支出	△10,580	△704
投資有価証券の売却による収入	10,576	648
投資有価証券の償還による収入	—	670
条件付対価の決済による収入	—	283
貸付けによる支出	△118	△192
貸付金の回収による収入	418	92
投融資の純増減額 (△は増加)	△205	22
その他	21	△39
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,560	△10,091
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,529	3,680
長期借入れによる収入	17,500	18,800
長期借入金の返済による支出	△4,192	△4,041
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,417	△1,421
社債の償還による支出	—	△10,000
その他	△89	△89
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,271	6,929
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△53
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	768	431
現金及び現金同等物の期首残高	3,927	3,161
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	206

現金及び現金同等物の四半期末残高	<u>4,695</u>	3,799
------------------	--------------	-------

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日 企業会計基準委員会)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

当該会計基準等の適用による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正)

「所得税法等の一部を改正する法律」(令和7年法律第13号)が2025年3月31日に国会で成立し、2026年4月1日以後開始する連結会計年度より、「防衛特別法人税」の課税が行われることになりました。

これに伴い、2026年10月1日以後開始する連結会計年度において解消が見込まれる一時差異等に係る繰延税金資産及び繰延税金負債については、法定実効税率を31.0%から31.4%に変更し計算しております。

この変更により、当第3四半期連結会計期間末の繰延税金負債の金額(繰延税金資産の金額を控除した金額)が7百万円増加し、法人税等調整額が44百万円、その他有価証券評価差額金が51百万円、それぞれ減少しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,895	65,228	44	91,168	—	91,168
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,536	—	24	1,560	△1,560	—
計	27,431	65,228	69	92,729	△1,560	91,168
セグメント利益又は損失 (△)	5,819	1,191	18	7,029	△2,985	4,044

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,985百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	27,809	67,433	23	95,266	—	95,266
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,836	—	42	1,879	△1,879	—
計	29,646	67,433	66	97,146	△1,879	95,266
セグメント利益又は損失 (△)	5,840	865	27	6,732	△3,023	3,709

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,023百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。